

アフリカ農業統計人材育成による世界戦略支援事業[新規]

【38(0)百万円】

対策のポイント

SDGsの進捗を測るためのデータ収集・分析能力強化、ICT技術を活用したデータ収集手法の開発を通じて、農業農村統計改善等国際的取組に貢献します。

<背景/課題>

- ・世界には飢餓に苦しむ人々が約7億9,500万人いる中、持続可能な開発目標（SDGs）において「飢餓根絶」に向けた取組が行われており、その取組を監視・評価する上で開発途上国における基礎データの正確性・信頼性の向上が不可欠とされています。
- ・我が国においても、SDGsが国際社会全体の目標として採択される中、開発途上国に対するSDGs実施体制支援として、各国の飢餓・貧困対策や各種対策の進捗状況を測る指標整備の支援を行うこととしています。
- ・FAOは「農業農村統計改善のための世界戦略」イニシアティブの下、アフリカにおける科学的・客観的統計データを整備する調査手法の研究・開発を担う他、SDGsでは食料・農業に関する21の指標整備に携わり、その作成に必要な統計担当者の人材育成も担うこととされています。
- ・このため、アフリカにおける農業統計担当者の人材育成及び正確性・信頼性の高い調査手法の開発をFAOを通じて実施することで世界戦略イニシアチブやSDGs等国際的取組に貢献します。

政策目標

パイロット6カ国において、農業統計職員を対象に信頼性の高いデータ収集・分析の研修が実施されるとともに、ICT技術を用いたデータ収集手法が開発される。

<主な内容>

アフリカ農業統計人材育成による世界戦略支援事業 38(0)百万円

(1) 統計担当者の人材育成

指標作成に必要なデータ収集・分析手法について各国農業統計担当職員や調査員を対象に研修を実施するとともに、研修成果を踏まえてパイロット調査を実施します。

(2) ICT技術を活用したデータ収集手法の開発

データ収集の効率化や正確性向上のためICT技術を活用した手法の開発に向け先進的な事例収集を実施し、実証調査に向けた検討を行います。

【拠出先：国際連合食糧農業機関（FAO）】

事業実施期間：平成30年度～32年度

お問い合わせ先：

大臣官房海外投資・協力グループ (03-3502-5913)

国際機構グループ (03-3502-8497)

統計企画管理官 (03-3502-8092)

アフリカ農業統計人材育成による世界戦略支援事業

事業概要・目的

<背景>

- 飢餓に苦しむ人々が約7億9,500万人おり、**SDGsの飢餓根絶は全ての意思決定者の重要なコミットメント**。
- SDGsでは、目標に向けた進捗状況を測る指標を定め、監視・評価することとしているが、そのための**データ整備が不十分**。
- 我が国のSDGsに対する取組として、**開発途上国への飢餓・貧困対策、指標整備支援**を実施。
- ナイロビ宣言において、**適切な農業施策の実現には農業統計システムの改善が必要**である旨記載。

<目的>

- SDGs指標の整備に必要な信頼性の高いデータ収集・分析のため農業統計担当者の人材育成が図られるとともに、ICT技術を用いたデータ収集手法が開発されることでTICADなど、国際的な取組に貢献。

事業イメージ・具体例

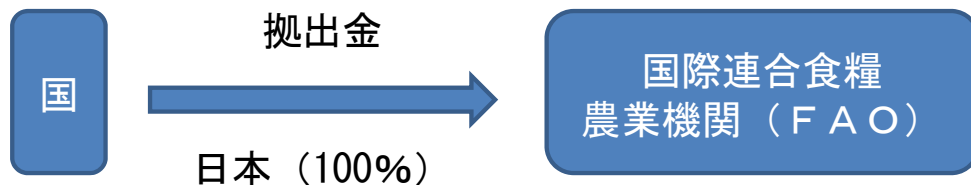
○統計担当者の人材育成

- ・SDGs指標作成に必要なデータ収集・分析手法に関する、農業統計担当職員を対象とした研修を実施。
- ・研修成果を踏まえパイロット調査を実施。

○ICT技術を活用したデータ収集手法の開発

- ・データ収集の効率化や正確性向上のためICT技術を活用した手法の開発に向けた事例収集を実施。
- ・収集した事例をもとに指標作成に資する調査手法の実証に向けた検討。

資金の流れ



期待される効果

- SDGsの飢餓・貧困削減の進捗状況をモニタリング・評価。
- 対象国における食料安全保障施策の策定・評価のための基礎資料を整備。
- ICT技術を活用した我が国の調査効率化の検討の一助。